

1 授業日時 令和8年6月24日(水) 1時間目 10:25~11:10 2時間目 11:15~12:00

2 参加校 Ch1:東広島市立志和小(2学級37名),造賀小(1学級14名),三ツ城小(4学級130名),乃美尾小(1学級11名),福富小(1学級12名),河内小(1学級13名),風早小(1学級23名),龍王小(6学級200名),安芸高田市向原小(1学級17名),府中市立上下南小(1学級8名),三原市立須波小(1学級12名),利尻町立仙法志小(1学級4名),釧路市立芦野小(2学級58名),厚沢部町立館小学校(1学級6名),北見市立中央小(2学級46名),伊達市立関内小(1学級5名),鹿児島市立平川小(1学級10名),徳之島町立尾母小(1学級1名),手々小(1学級1名),伊仙町立面縄小(1学級24名)

Ch2:スクール“S”,西条FS,豊栄FS,徳之島「島われんきゃハウス」,安芸高田市「あすなろ」

3 学年・単元名 6年生 縄文のむらから古墳のくにへー日本の歴史を知るのに、前方後円墳はどのくらい重要か？

4 授業前の準備

- 東京書籍(18-21頁)の「巨大古墳と豪族」「大和朝廷による統一」,教育出版(88-91頁)の「古墳をつくった人々」「古墳の広がり」と大和朝廷」をあらかじめ眺めておくと、本時の理解が深まります。
- 事前学習が難しい場合は、NHK for Schoolの動画視聴をお勧めします。
 - ・「[大仙古墳](#)」2分43秒 「[古墳の中を飾ったもの](#)」(2分44秒) … 基本編です。
 - ・「[ヤマト王権はどうやって権力を広げた?](#)」(10分00秒) … やや高度です。
- 事前アンケートに回答させてください。リンクは後日提示します。



5 本時(第1時)

目標:前方後円墳の歴史的価値を、①権力者の出現と②大和朝廷との関わりからの視点から説明できる。【思考・判断・表現】

学習活動 ※全体(全)・教室(教)・個人(個)	予想される生徒の反応(例)	指導上の留意点
<導入> 1. 三ツ城古墳について理解する。(10) (1)〇×クイズをしよう(全)(10)。 ①古墳とは、昔の人の家の跡である。 ②前方後円墳というタイプの古墳である。 ③教科書に出ている大仙古墳よりも小さい。 ④2枚の写真のうち、新しいのは「B」である。	(答え合わせ) ・×:昔の人のお墓。 ・〇:円と四角を組み合わせた鍵穴タイプ。 ・〇:全長92m。大仙古墳の1/5ぐらい。 ・〇:1990年から古墳を元に戻す工事をした。	・カメラに向かって意思表示 ・【資料1】を掲示
【学習課題】 三ツ城古墳のような前方後円墳から、当時の様子がどれくらいわかるのだから?		
<展開1> 2. 古代史を知る上での前方後円墳の可能性に気づく(教)(15) (1)パンフレットから、当時の人々のようすを読み取る。 (2)学芸員の解説を聞こう。	(パンフレットから読み取れること) ・広島で最も力のある豪族が支配していた。 ・豪族が、大きな古墳を作らせていた。 ・埴輪を並べて、亡くなった人を讃えていた? (学芸員の話のポイント) ・親子らしい3人のひつぎがある。 ・玉や鏡、鉄刀も見つかった。権力者の印。 ・朝顔型の特別な埴輪や家・馬の埴輪がある。 ・大和朝廷に従った権力者の墓だろう。 ◎前方後円墳は、当時のくらしを分かる大事な手掛かりになりそう。	・【資料2】を配布 ・学級内で理解の確認 ・発表者はカメラの前へ ・【中継1】三ツ城古墳の上
3. 古代史を知る上での前方後円墳の限界性を評価する。(5) (1)前方後円墳から当時の日本の様子がどれくらい分かるか。10点満点で採点(個)(2)。 ア:1-3点,イ:4-6点,ウ:7-9点,エ:10点 (2)結果を見よう(全)(3)。 →なぜ高めにした? なぜ低めにした?	(高めの理由) ・大和朝廷に従った権力者と、その人たちのくらしが分かるから。 ・古墳を作った人たちの様子が分かるから。 (低めの理由) ・大和朝廷に従った権力者がいなかった地域のくらしは分からないから。	・【AI-1】個人端末で回答
4. 前方後円墳の分布の意味を説明する。(15) (1)前方後円墳の広がりを地図で読み取ろう。広がりを円で囲もう(教)(3)。 (2)自分たちの地域は、前方後円墳の広がり「ウチ」それとも「ソト」?(全)(2) (3)草原先生からの挑戦状(教)(10) 前方後円墳の広がり「ソト」には、どんな人々のくらしがあったのだから? 想像しよう。 (4)「ソト」にも(ウチと違う別の)「歴史があった」し「人もいた」と言ってもよい?	・東北地方(岩手県)から九州地方の南部(鹿児島県)までに広がる。 ・東広島市は円のウチ側だ! 北海道と徳之島は円のソト側だ! (挑戦状への応答例) ・稲作は広がらず、クニも生まれず、縄文時代の生活が続いていたかもしれない。 ・大和朝廷と関係の弱い(アイヌ・琉球文化につながる)人々がくらしていたかもしれない。 ・「ソト」にも、きっと人はくらしていたはずだ…しかし、自信はない。よく知らない。 ◎ソトの歴史も、もっと調べてみたいな!	・【資料3】を掲示 ・【AI-2】音声収集 ・学級内で意見交換 ・発表者はカメラの前へ ・AIの分析結果の共有 ・カメラに向かって意思表示

6 本時(第2時)

目標:日本の古代史を,大和朝廷の影響下のウチとソトの視点から捉える必要性に気付いている。【学びに向かう姿勢】

学習活動 ※全体(全)・教室(教)・個人(個)	予想される生徒の反応(例)	指導上の留意点
<展開2> 5. 前方後円墳の歴史的価値を,日本列島の多様性を視点に再評価する。(40) (1)各学級で前方後円墳の大切さについて報告書を作ります。書き方を確認しよう(全)(3)。 ①前方後円墳から当時の日本の様子が,分らない --▲----- 分かる ②なぜそう考えたか? 証拠写真も貼る ③教科書を読んで考えたこと。 (2)A/Bどちらかのグループに入って,3-7世紀の「ソト」のようすを調べよう(教)(15)。 ①資料を眺めよう。どんなこと分かるかな。 ②もっと深く知りたい遺跡を1つ選ぼう。専門家の説明を聞いたり,質問したりしよう。 A:北海道・北見市(常呂遺跡) B:鹿児島・徳之島(面縄貝塚) (3)各学級で報告書を作ろう(教)(15)。 (4)2つの学級でつながり,報告書を交流しよう(教)(7)。	(A:北海道・北見の例) ・常呂遺跡では,オットセイの頭にみえる土器が見つっている(8-9世紀)。 ・北海道ではとれないガラス玉や,琥珀の首飾り(紀元前3-4世紀)が見つっている。 ・オホーツクの人たちは,海で狩や漁をしたり,遠くの場所の交易をしたりしながら,生活していたかもしれない。 (B:鹿児島・徳之島の例) ・面縄貝塚では,洞くつから人間の骨が見つかった。 ・夜光貝を使ったアクセサリーや中国のお金,九州の土器も見つっている。 ・南西諸島の人々は,漁をしたり,中国や九州本土と貝を交易しながら,生活していたのではないかな。 (想定される報告書) ①前方後円墳だけでは,3-7世紀の日本列島各地のくらしは分からないかも。 ②北海道や鹿児島・徳之島の島々では,大和朝廷とのつながりは弱くて,狩や漁をしたり交易をしてくらす独自の文化が続いていた。 ③教科書には,大和朝廷やそれに従った人々の様子は書いてある。しかし,大和朝廷の仲間にならなかった地域の様子は,教科書に書いてない。	・後につくる報告書のフォーマットを確認 ・【資料4】を配布 ・AとBの遺跡の特徴(場所と発掘物)を大づかみする ・ブレイクアウトルーム入室 ・ファシリテータの進行に沿って遺跡を学ぶ→質疑応答 ・【中継2】専門家 ・【スライド】に入力 ・【AI-3】自動收音 ・ブレイクアウトルーム入室。 ペア学級と交流(広島と北海道・鹿児島・徳之島の学校の組み合わせを優先) ・終わったらメインルームへ
<終結> 6. 前方後円墳の歴史的価値を評価する。(5) (1)前方後円墳から当時の日本の様子がどれくらい分かるか。10点満点で採点(個)(2)。 ア:1-3点,イ:4-6点,ウ:7-9点,エ:10点 (2)結果を見よう。1時間目と比べて,点数が上がった人と下がった人。理由を教えて。 (3)振り返りアンケートで,あなたの点数の変化の理由を書いてね。	(点数上昇の理由) ・教科書に書いている通り,前方後円墳は,大和朝廷と全国の王との結びつきを表すシンボルだから。とても重要。 (点数低下の理由) ・教科書に書いてないけど,前方後円墳だけでは3-7世紀のいろいろな地域のくらしは分からないから。まあまあ重要。	・AIの分析結果の共有 ・【AI-4】個人端末で回答 ・カメラに向かって意思表示 ・発表者はカメラの前へ
【まとめ】 前方後円墳は,大和朝廷とつながる人々の歴史を知る重要な手がかりである。一方,同じ時代の日本列島には,各地に多様なくらしや文化を築いた人々が暮らしていた。歴史を見るには,いろいろな遺跡から考える必要がある。		

7 教材・教具・ICT関連

- 【資料1】整備前と後の三ツ城古墳(A2×2枚,横,カラー)
- 【資料2】三ツ城古墳のパンフレット(A4×児童数,横,カラー)
- 【資料3】前方後円墳の分布図(A1orA2×1枚,縦,カラー)
- 【資料4】常呂遺跡と面縄貝塚の場所と出土品(A2×2枚,横,カラー)
- 教具1 磁石マグネット。黒板に資料を掲示するために,20個ほどご用意ください。
- 教具2 情報共有サイト(DCCきっず)に接続した児童端末
- 報告書スライド ①評価尺度,②評価理由と根拠,③教科書の感想
- AI-1 個人投票:前方後円墳はどのくらい重要か。4択(①:1-3点,②:4-6点,③:7-9点,④:10点)
- AI-2 收音分析:前方後円墳の重要度をめぐる対話から,本質的で鋭い歴史理解を3つ程度取り上げてください。
- AI-3 收音分析:前方後円墳の重要度をめぐる対話から,少数派だけど鋭い歴史理解を3つ程度取り上げてください。
- AI-4 個人投票:前方後円墳はどのくらい重要か。4択(①:1-3点,②:4-6点,③:7-9点,④:10点)

資料等は,大学から事前郵送します。
教具は各校で準備してください。

8 授業後の展開(例)

- 飛鳥時代や奈良・平安時代を指導する際,中国にならって作った天皇を中心とした中央集権体制が,どのくらいの広がりて成立していたかを考えさせるとよいでしょう。例えば,①大和朝廷の指示で「租調庸」といった税を納めていた範囲,②聖武天皇が全国に設置したという「国分寺」の分布等を,調べさせてもよいでしょう。
- 「日本」という国の政治的なまとまりに,北海道から沖縄まで(日本列島全体)が入った時期はいつかを,教科書の年表で確かめてみてよいでしょう。